

山梨県における森林環境譲与税の用途について（令和4年度実績）

1. 山梨県森林環境譲与税基金歳入額

森林環境譲与税	60,124 千円
運用利子	1 千円

2. 森林環境譲与税活用事業の内訳

事業区分	事業名	事業総額（千円）			事業内容	実 績		
		(A)+(B)	(A)森林環境譲与税（千円）	(B)うち他の財源（千円）		研修・講習、求人イベント等		
						回数（回）	参加者数（人）	
人材育成・担い手対策支援	森林の担い手づくり強化対策事業費	3,719	3,719		①新規林業就業者確保のため、本県林業の魅力を発信する取り組みを実施 ②新規林業就業者の確保・定着のため、技術指導や現場の安全管理等を行う者を育成 ③林業就業者の所得向上のため、林業経営体の事業規模拡大や生産性向上に向けた取り組みを実施	5	37	
人材育成・担い手対策支援 市町村職員等の研修	森林学科運営費	46,311	42,081	4,230	令和4年4月に専門学校山梨県立農業大学校を農林大学校に改称して森林学科を設置し、林業の成長産業化を支える高度な知識と技術を備えた人材を育成	14	288	森林学科の第一期生9名に対して教育活動を行うとともに、資機材保管庫など追加的な施設整備を実施しました。また、市町村職員や既就業者に対して森林経営管理制度実務研修、林業架線作業講習等を実施しました。
木材利用の推進	やまなしの木マーケット開拓事業費	1,455	1,455		東京圏における県産材の需要拡大を推進するため、試作品の開発及び展示会展覧に対し助成			県内事業者による都市部のニーズに応じた製品開発に対して補助し、知育玩具等4製品が新規開発されました。
木材利用の推進	県産材供給システム強化対策事業費補助金	21,796	21,796		県産材の安定的な供給の実現に向けて、流通体制を構築し、住宅建築等に県産材を利用した企業グループに対し助成			素材生産から製材、流通、施工までの事業者で構成する企業グループにより住宅建築等への県産材の利用が図られました。
木材利用の推進	県産材利用促進事業費	1,059	1,059		建築物等における県産材の利用促進を図るため、県民を対象とした現場見学会等を実施			県産材を利用した住宅等の現地見学会の開催を支援しました。また、イベント等で使用する県産材普及グッズや、県産材を活用した建築物の紹介する冊子を作成し、県民向けに木材の利用意義等の普及活動を実施しました。
普及啓発の支援	森林環境教育推進事業費補助金	2,725	2,725		子どもたちの森林や木の文化を継承する心を育むため、森林体験活動や木育活動の取り組みに対し助成			教育、商工、森林関係団体等で構成する「やまなし森林環境教育・木育推進協議会」を通じ、県内8箇所でも育スペースの設置等、県内2団体に対し森林体験活動の企画支援、大型百貨店特設会場等県内3箇所でも育キャラバンの開催、木育インストラクター養成講座参加補助を実施し、森林環境教育・木育の普及啓発を図りました。
		77,065	72,835	4,230				

※「1. 山梨県森林環境譲与税基金歳入額 60,125千円」と「2. 森林環境譲与税活用額 72,835千円」の差額は、過年度基金残額の取り崩しを行いました。